

## 施策評価調書(22年度実績)

政策体系	施策名	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	施策コード	I-1-(1)
	政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進	主管部局名	生活環境部
			担当課室名	生活環境企画課
施策概要	本県は、豊かな自然や温泉に恵まれているが、その恵みを将来にわたり享受していくため、県民全体でこれらの資源を保護・保全していく体制づくりに取り組むとともに、適正利用を推進する。 また、環境に負担の少ない社会資本整備に努めるとともに、農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生を図る。			

### 【評価指標】

主な取組		指標		基準値		22年度			27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値
①	自然や生態系の保護・保全と適正利用の推進	i	特に保護が必要な希少野生動植物の指定数	—	—	15	17	113.3%	20
		ii	環境保全活動を行うNPO法人数	16	76	140	206	147.1%	180
②	温泉資源の保護と適正利用の推進	iii	利用者にわかりやすい温泉表示認証件数	—	—	200	223	111.5%	250
③	快適な地域環境の保全と創造	iv	県民1人当たりの都市公園面積(m <sup>2</sup> )	16	10.8	12.0	12.7	105.2% (H21)	13.0
		v	中山間地域の集落活動(集落協定締結面積割合)	16	75.0	80.0	78.1	97.6%	85.0
		vi	漁場再生面積(ha)	—	—	11,000	14,917	135.6%	19,000
						平均達成率(%)		118.4%	

### 【業績評価】

No.	業績評価			平均 評価
i	達成	22年度に新たな指定は無いが、実績値は目標値を上回っている。		
ii	達成	環境保全活動を行うNPO法人数は着実に増加し、目標を達成した。		
iii	達成	利用者にわかりやすい温泉表示は着実に増加し、目標を達成した。		
iv	達成	都市におけるオープンスペースは着実に増加している。なお、22年度の実績は23年10月に確定するため、目標値及び実績値は21年度の数値を記載している。		
v	概ね達成	集落営農組織の育成や共同利用機械・施設の導入が進み、農産加工や都市と農村の交流等の多彩な取り組みが行われるなど、概ね目標を達成した。		
vi	達成	海底の堆積物の除去や耕耘を行うことにより、漁場の生産力の回復と水産資源の生息場の環境改善が図られ、目標を達成した。		達成

【施策目的を達成するための主な事業(22年度)】

指標 No.	事業名		事務事業評価		事業コスト
			総合評価	掲載頁	
i	1	おおいた生物多様性保全事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	69	25,168
	2	希少野生動植物保護事業	現状維持	-	3,026
	3	鳥獣被害総合対策事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	121	115,370
	4	森林シカ被害防止対策事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	122	74,437
	5	河川等環境整備事業	—	190	211,820
ii	1	農地・水・環境保全向上対策事業	見直し(23年度)事業内容の変更	119	171,056
iv	1	都市政策推進費	見直し(23年度)効率化の推進	189	31,166
	2	県営都市公園施設整備事業	—	192	36,624
	3	港湾環境整備事業	—	191	375,102
v	1	中山間地域等直接支払事業	現状維持	117	1,846,948
vi	1	離島漁業再生支援交付金事業	現状維持	118	30,602
	2	(公)沿岸漁場基盤整備事業	—	-	1,316,692

【構成事業の妥当性】

本県の豊かで多様な自然環境を守り、次の世代へと引き継いでいくために、自然保護の推進と適正利用を促進し、環境との調和を図りながら社会基盤を整備するための事業を体系的に推進する必要がある。

【施策主管部局評価】

評価	ア 拡充	イ 現状維持	ウ 見直し
理由	自然景観や野生動植物など自然環境保全を図るとともに、それを次世代に引き継ぐため、生物多様性保全の取組等各種施策を推進していくとともに、多様化する県民のニーズに応じて快適な地域環境の創造を推進する。		

【施策目的を達成するための主な事業(23年度)】

指標 No.	事業名		取組内容	事業コスト
i	1	おおいた生物多様性保全事業	地域戦略の普及促進、自然観察会の実施、外来生物対策の実施	29,140
	2	希少野生動植物保護事業	希少野生動植物の指定、希少野生動植物保護推進員の育成	6,572
	3	鳥獣被害総合対策事業	有害鳥獣に対する防護柵の設置、有害鳥獣の捕獲	435,985
	4	森林シカ被害防止対策事業	シカ対策の防護柵設置、シカの捕獲	103,513
ii	1	農地・水・環境保全向上対策事業	農地・水・環境保全活動を実施する地域団体への支援	188,469
iv	1	都市政策推進費	都市の人口、産業、建築、開発等の動向の調査分析	24,925
	2	県営都市公園施設整備事業	県営都市公園施設の計画的な改修・補修	472,476
	3	港湾環境整備事業	港湾における緑地や多目的広場等の整備	248,567
v	1	中山間地域等直接支払事業	中山間地域等において直接支払を実施	1,772,494
vi	1	離島漁業再生支援交付金事業	離島漁業再生活動への支援	28,858
	2	(公)沿岸漁場基盤整備事業	沿岸漁場の整備	893,948

【今後の施策展開の方向性】

・本県の豊かな自然や生物多様性を将来にわたって継承し、その恵みを持続的に得ることができる「自然共生社会」づくりを推進する。  
 ・貴重な温泉資源の保護・適正利用を推進する。  
 ・環境に負荷の少ない社会資本整備などに引き続き取り組む。